

**AM/FM
ポータブルラジオ
RAD-T410N**

AudioComm®

AudioComm
76.80 86.90 95 99 FM
53.70 65.10 100 108 AM
電圧 電流
FM • G • AM

保証書付 取扱説明書

AudioComm AM/FMポータブルラジオを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保存してください。

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前に取扱説明書をよく読みの上、正しく安全にお使いください。



警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 乾電池は充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 雷が鳴り出したら、ACコードで使用中の場合は、プラグに触れない。屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷による感電などの原因となります。
- ACコードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。感電、ショート、火災の原因となります。
- 本機の電源を切っても内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- 異常があった場合すぐに本体の電源を切り使用を中止して、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
- 本機を分解、改造しない。感電、ショート、火災、けがの原因となります。



注意

「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- 電池はプラス(+)とマイナス(-)の表示通りに入れる。指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例：アルカリとマンガン)をいっしょに使用しない。使い終わった電池は取り出す。長期間使用しない時も電池は取り出す。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- イヤホン使用時は耳を刺激する大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。

本体のお手入れの仕方

やわらかな布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤や石けん水に浸した布を固く絞って拭き取り、やわらかな乾いた布で仕上げてください。なお、シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたりしないでください。変色・変形、または破損の原因になります。

故障かな?と思ったら 下表を参考に点検してください。

現 象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認(残量がない場合は電池を交換)。 ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

主な仕様

電 源	AC100V 50/60Hz 消費電力1W DC3V 単1形乾電池×2本(別売)	
受信周波数	AM 530—1605 kHz	FM 76—99 MHz
乾電池での 連続使用可能 時間の目安	スピーカー出力時 AM：約285時間 / FM：約280時間 イヤホン使用時 AM：約395時間 / FM：約390時間 (アルカリ乾電池使用、音量中程度として)	
外形寸法	幅200×高さ110×奥行60mm (キャリーハンドル収納時、突起物含まず)	
質 量	約393g(乾電池含まず)	
付 属 品	専用ACコード、保証書付取扱説明書	

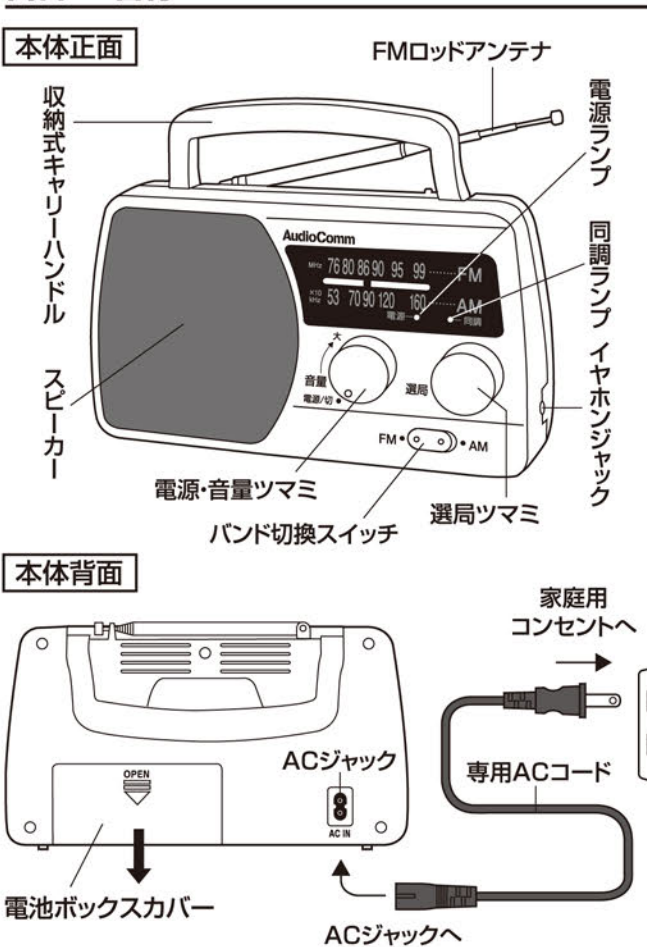
※本機の出力はモノラルです。※外観、仕様は予告なく変更する事があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本書本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

各部の名称



保証書 持込修理

商品名	AM/FMポータブルラジオ	★お買い上げ日：____年__月__日
型番(品番)	RAD-T410N(07-6422)	保証期間：本体1年間 (お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前 _____様	
	★ご住所 〒 _____ _____市 _____区 _____丁目 _____番地 _____号 電話 _____	
修理		
販売店	★住所 氏名 電話 _____	

見本



(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ		0120-963-006 048-992-2735	
電話 受付	048-992-3970 平日 9:00～17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます	電話 受付	平日 9:00～17:30 土曜 9:00～17:00 ※日曜、祝日及び年末年始は除きます

07-6422A

電源について(AC/DC 2電源方式)

■**家庭用コンセントで使用する場合**
専用ACコードを使用して、本体背面にあるACジャックと、家庭用コンセントに接続します(左図参照)。

付属のACコードは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACコードをお使いください。また付属のACコードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損もしくは火傷、発煙、火災の原因となる場合があります。

■電池(別売)で使用する場合

- ① 本体背面の電池ボックスカバーを下にスライドさせて開きます(左図参照)。
- ② 電池ボックスに単1形乾電池2本(別売)を入れます。
電池ボックス内に表示されているプラス(+)、マイナス(-)の極性通りに正しく入れてください。なお、電池を入れる際は必ず(-)側から先に装着してください。
- ③ 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めます。

アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式電池では使用可能時間が短くなります。

ラジオの使い方

- ① バンド切換スイッチで「AM」か「FM」を選択します。
- ② 電源/音量ツマミを時計回りに回すと、カチッと音がして電源が入ります(電源ランプ点灯)。そのまま回して音量を調節します。
- ③ 選局ツマミを回して、お聴きになる放送局の周波数に合わせます(同調時に同調ランプが点灯します)。
- ④ ラジオのご使用を終える時は、電源/音量ツマミを反時計回りにカチッと音がするまで回すと電源が切れます(電源ランプ消灯)。

※本機はアナログ受信機のため、使用状況により周波数の表示が受信している周波数から多少ずれる場合がありますのでご了承ください。

※本機はFM周波数帯域が76～99MHzまでであるため、FM補完放送(ワイドFM)に対応しています。FM補完放送(ワイドFM)とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送(ワイドFM)の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

受信について

■AM放送を聞くと
本体を放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

■FM放送を聞くと
FMロッドアンテナを伸ばして、本体を放送が一番良く受信
できる方角に向けてください。

■建物の中で聞くときは
電波が弱くなると、聞こえにくくなります。本体を窓に近づけて
お使いください。

■音声について

- ・本機はモノラル受信機です。ステレオ音声にはなりません。
- ・本機はTV放送は受信できません。

イヤホンのご使用について

側面にあるイヤホンジャックにイヤホン(別売)のプラグを接続してご使用ください(接続時は音量を下げて耳に負担のない音量に徐々にあげてください)。
※イヤホン使用時はスピーカーから音は鳴りません。

側面にあるイヤホンジャックにイヤホン(別売)のプラグを接続してご使用ください(接続時は音量を下げて耳に負担のない音量に徐々にあげてください)。
※イヤホン使用時はスピーカーから音は鳴りません。